

令和3年度 年間授業計画

都立墨田川高等学校

教科・科目	家庭・家庭基礎	講座名	家庭基礎	対象年次	2
教科担任	石井 知美			単位数	2
教科書	家庭基礎 自立・共生・創造（東京書籍）				
副教材等					

学習目標	自立と共生にむけて、男女が協力し、家庭生活を創造する能力と実践的な態度を育てる。 実習・実験・演習等を通して、家庭生活に必要な基礎的・基本的な知識と技術を習得する。 持続可能な社会・環境について視野を広め、深く考察し、生活者として行動できるようにする。
------	--

月	期間	単 元	配当時間	学 習 内 容	学習上の留意点
4月、5月	第一回定期考査	自分らしい人生をつくる 家族・家庭を見つめる 衣生活をつくる	12h	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯発達の視点 ・青年期の課題 ・人生をつくる ・これからの家庭生活と社会 ・被服製作実習 	<p>よりよく生きるために、今の自分を見つめ、自立や共生について考える。</p> <p>基礎縫いの技術の定着を図る。</p>
5月、7月	第二回定期考査	子どもと共に育つ	12h	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの育つ力を知る ・親として共に育つ ・これからの保育環境 	子どもの育つ力を理解するとともに、親となった時、あるいは社会の一員としての子どもとの関わり方を身に付ける。
7月、10月	第三回定期考査	ホームプロジェクト 食生活をつくる	14h	<ul style="list-style-type: none"> ・生活に生かそう ～ホームプロジェクト～ ・食生活の課題について考える 	家庭科の学びを生かして問題解決能力と実践的な態度を身に付ける。生活能力を高め、一人の人間として自立することを目指す。
10月、12月	第四回定期考査	食生活をつくる	14h	<ul style="list-style-type: none"> ・食事と栄養・食品 ・食生活の安全と衛生 ・生涯の健康を見通した食事計画 ・調理の基礎・食文化とこれからの食生活 ・調理実習 	よりよい食習慣を身に付けための、知識と技術を身に付ける。QOLを高める視点を持たせ、持続可能な社会に向け、賢い消費者になるため広い視野を持たせる。
12月、3月	第五回定期考査	高齢社会を生きる 共に生き、共に支える 住生活をつくる 経済生活を営む 生活を設計する	18h	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢期を理解する ・高齢期の心身の特徴 ・これからの高齢社会 ・共に生きる ・これからの住生活 ・国民国際経済と家庭の経済生活 ・家計管理と現代の消費社会 ・エピローグ 家庭基礎 学習のまとめ 	高齢者の特徴や高齢社会の現状を知り、演習から誰もが住みやすい住環境について考えさせる。家計管理、適切な消費行動を考え、実践できるようにさせる。自身の生活設計を考えさせる
評価の観点・方法		<ul style="list-style-type: none"> ① 授業中のワークシート、及び 実習・課題・作品等提出物の状況や完成度 ② 出欠状況、授業中の興味・関心・意欲などの取り組み状況 ③ 小テスト等の素点等 これらを総合的に評価する。			